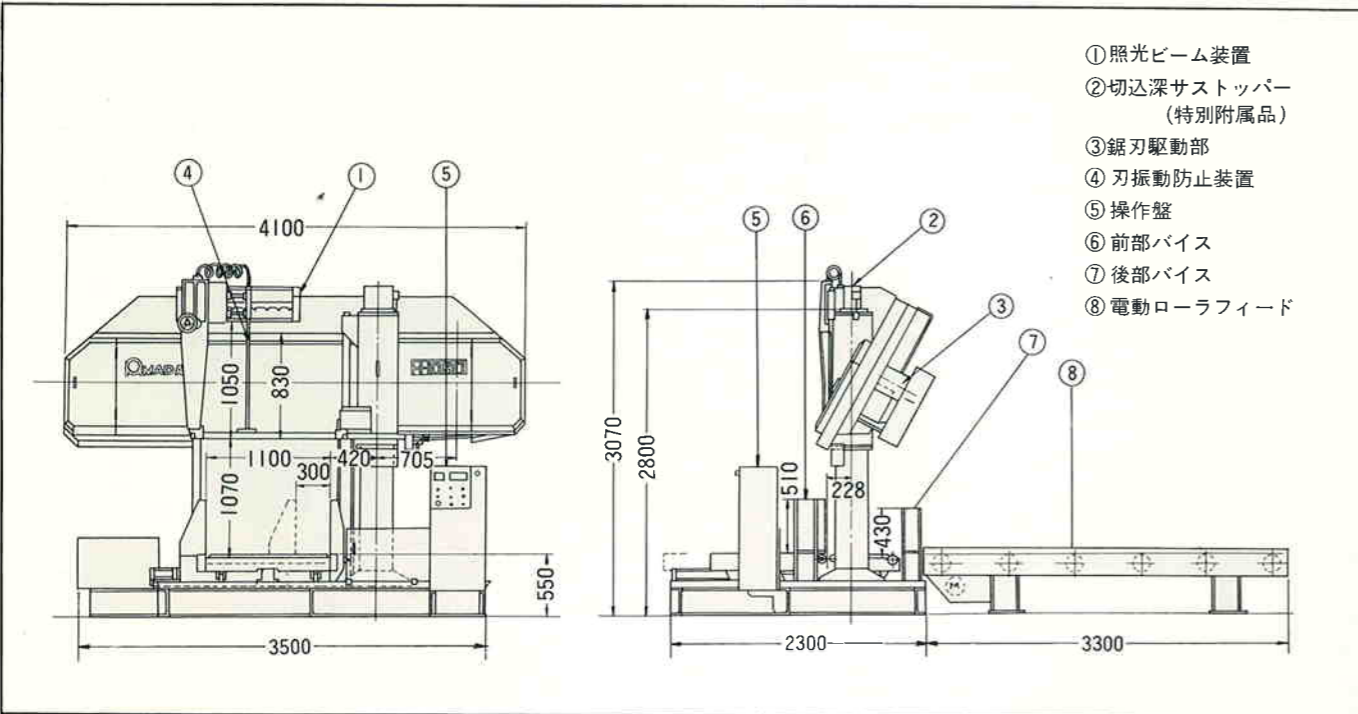


AMADA H-1080

《ワイド・カットオフ》 HORIZONTAL TYPE

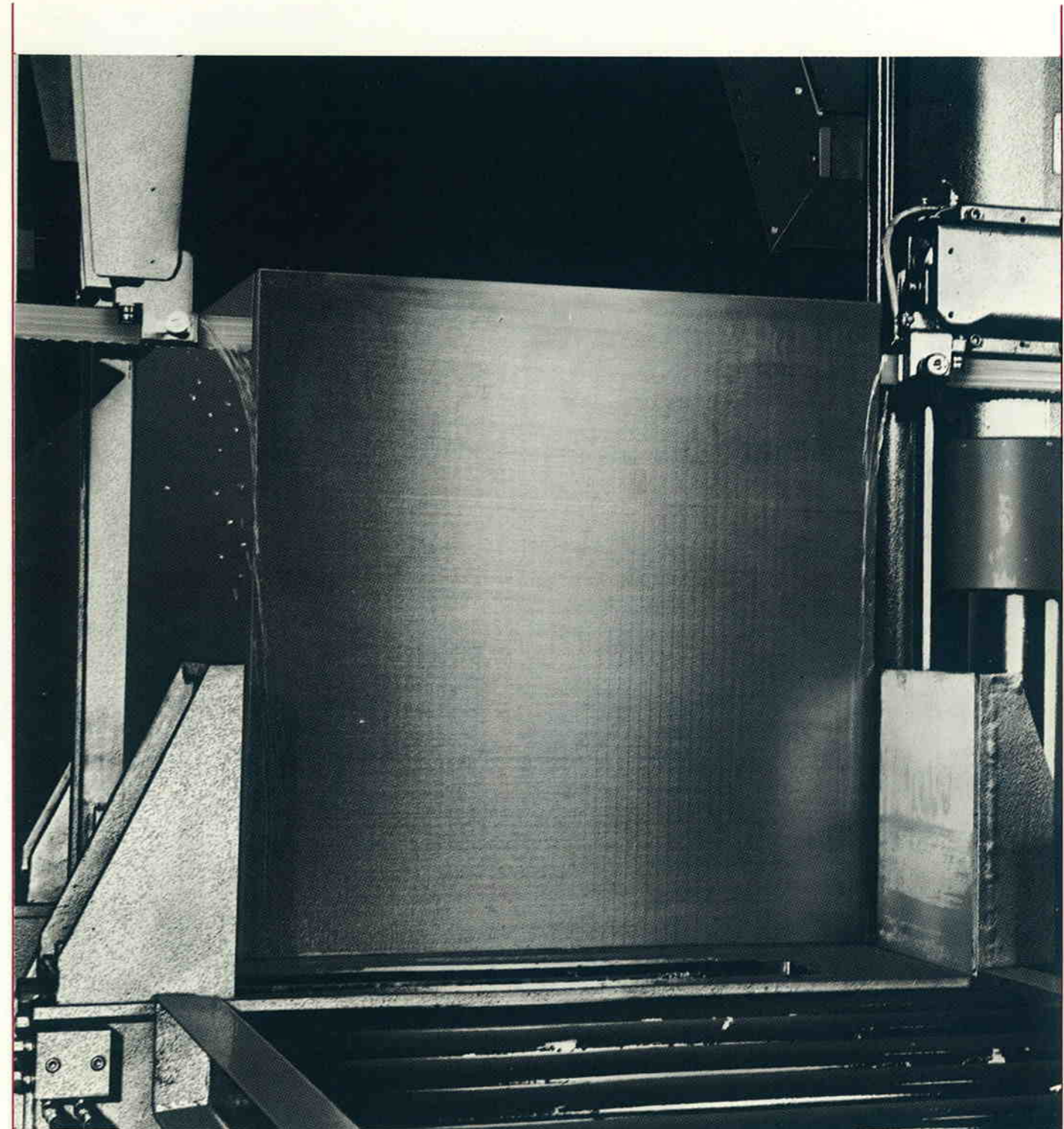


- ① 照光ビーム装置
- ② 切込深サSTOPパー (特別附属品)
- ③ 鋸刃駆動部
- ④ 刃振動防止装置
- ⑤ 操作盤
- ⑥ 前部バイス
- ⑦ 後部バイス
- ⑧ 電動ローラフィード

●仕様

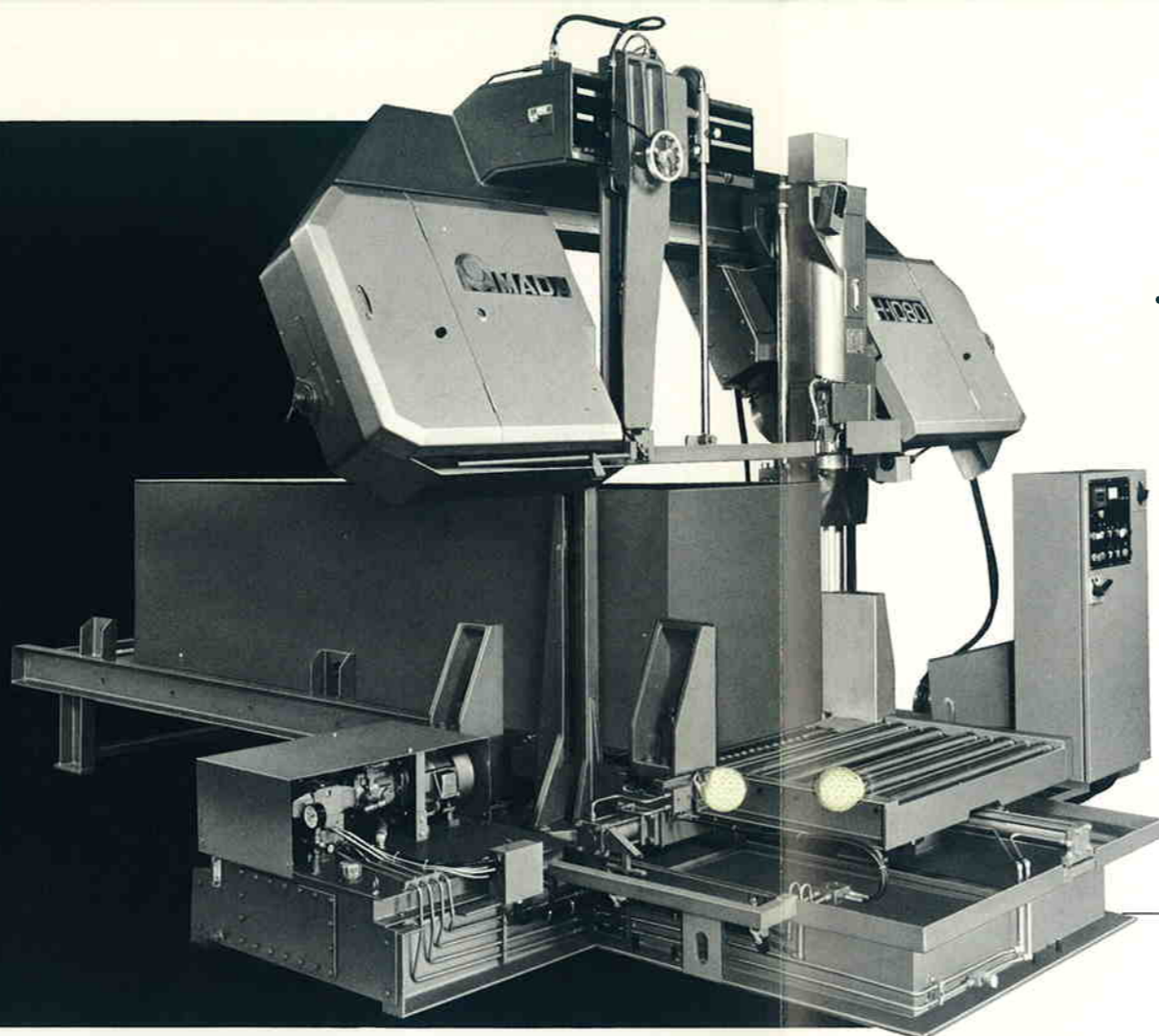
切 断 能 力	1000×1000 (但し長さ380), 1000×800, 800φ	
鋸 刃 速 度	17, 29, 41, 53, 65 m/min 5段変速	
鋸 刃 寸 法	<GLB>65×1.6×8800%	
電 動 機	鋸 刃 起 動	11KW×4P
	油 圧 起 動	2.2KW×4P
	切 削 油 起 動	0.2KW×2P
タ ン ク 容 量	油 圧	120ℓ
	切 削 油	80ℓ
床 面 より ベ ッ ト 面 迄 の 高 さ	550%	
機 機 重 量	7000kg	

*本仕様は改良のため予告なく変更することがあります。



FUNCTION CUT OFF MACHINE

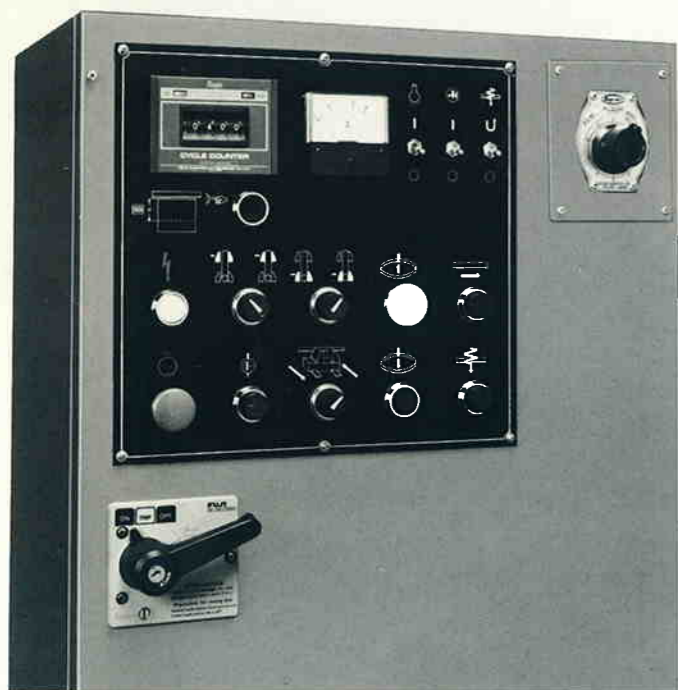
H-1080



世界で創めての 1,000×1,000 標準切断機

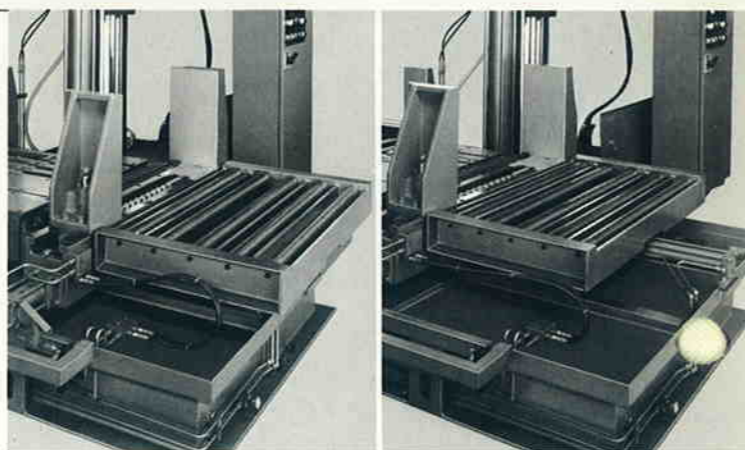
GLBとタイアップ…高速と高精度の能率機

切断時間, 1,000□を240分



集中制御装置(コントロールボックス)

コンパクトでゆとりある使い易い、前面集中操作方式により重量物を取扱うときのトラブルをなくしました。



簡単な給送材装置 (前部ハイスベットの前後移動と電動ローラーテーブル)

前部ハイスベットは油圧シリンダーにより430mmのストロークで前後に移動送りが出

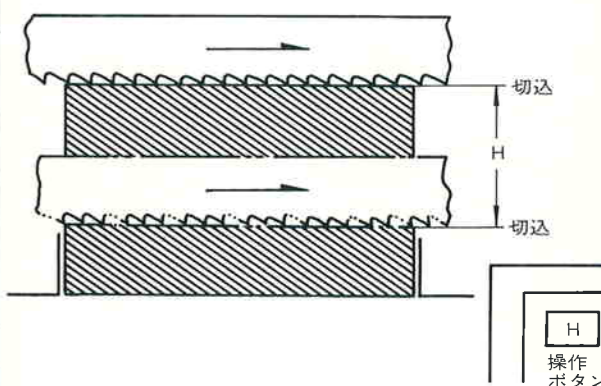
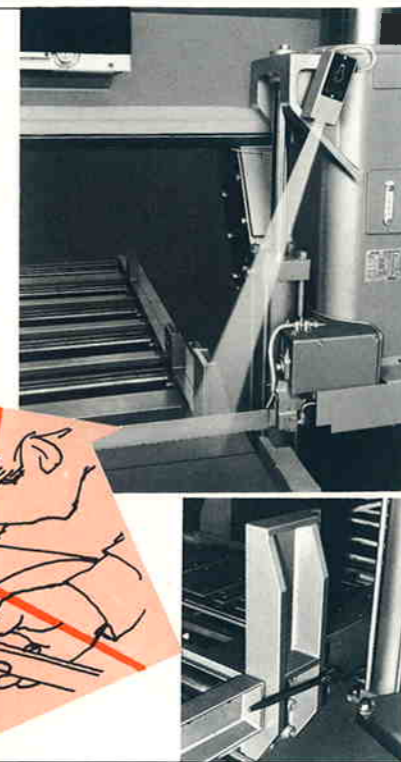
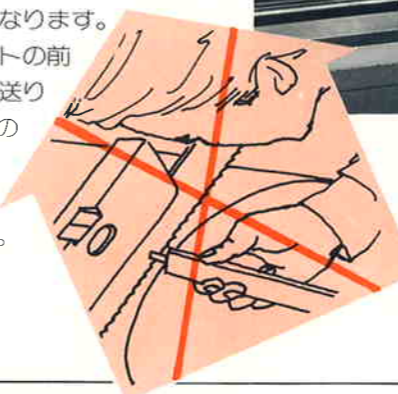


ますので、前部からの給材、送材又は搬出が、操作盤上で簡単に出来ます。後部から給送材する場合は、電動ローラーフィードにより簡単に出来ます。鋸刃を中心に前後にハイスがある二連ハイス機構のため、前後に材料を、送ることが出来ます。

簡単なケガキ合せ (照光ビーム装置)

ケガキ合せが簡単に出来ます。照光ビームにより鋸刃の影が材料に写し出されます。この影とケガキ線と重なった状態が切断する個所になります。

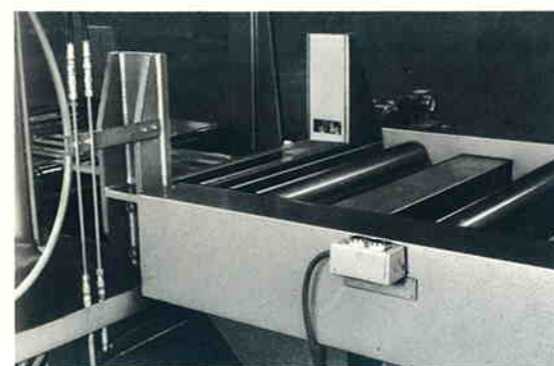
前部ハイスベットの前後移動及び微量送り装置がありますので簡単にケガキの位置を合わせることが出来ます。



切込深さ自動設定装置(デジタル標示方株)

鍛型、アリ溝切削に最適 / 切断深さを任意に選択出来ます。あらかじめ、鋸刃を材料に最も近い状態にしておき、操作盤上のデジタルカウンターを所定の寸法(切断する深さ)に設定します。切込みが進み所定の寸法まで達すると機械は自動的に停止します。

電動ローラーフィード装置



コンパクトな設計 (H-600に比較)

